

## 「腫瘍遺伝学セミナー」を開催

2012年3月9日

3月9日(金)にがん進展制御研究所棟4階 会議室において、国立遺伝学研究所・発生工学研究室 相賀 裕美子教授を迎え、「RNA結合タンパク質Nanos2による雄性生殖細胞の分化制御機構」と題して、腫瘍遺伝学セミナーを開催しました。

セミナーでは、相賀先生ご自身の最新の研究成果を示されながら、精子幹細胞の未分化・分化の制御機構について、大変興味深いご講演を頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 腫瘍遺伝学セミナー

## RNA結合タンパク質Nanos2による 雄性生殖細胞の分化制御機構

講演者

国立遺伝学研究所  
発生工学研究室・教授

相賀 裕美子 先生

日時：平成24年3月9日(金) 16:30～17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

相賀裕美子先生は、日本で初めてノックアウトマウスの作製に成功されました。その後も、生殖細胞発生におけるNanosの役割(Science,2003:Genes Dev,2008:Science;2009)および、NotchシグナルにおけるMesp2の役割(Nature,2005)など、多くの興味深い発見を続けて報告されています。発生におけるシグナルは、腫瘍発生過程のシグナルと似ている事が知られていません。講演では、相賀先生の最新の知見をお話していただける予定です。

皆様奮ってご参加、ご討論下さい。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760）